

「課題名：広島県下医療施設の抗菌薬使用動向と耐性菌分離率並びに分離株の性状に関する調査研究」について

○ 研究の意義・目的

感染症の治療薬である抗菌薬を不適切に使用することによって、抗菌薬が効かない病原微生物（耐性菌）が増えると言われており、国際的に問題となっています。日本でも、薬剤耐性（AMR：Antimicrobial resistance）アクションプランという行動計画がつくられ、その中には抗菌薬の適切な使用を推進する内容が含まれています。抗菌薬の使用動向を調査することで、抗菌薬が適切に使用されているかどうかを評価する指標の作成や、地域の医療事情に合わせた抗菌薬の使用法および耐性菌対策に寄与できると考えました。

○ 研究対象者

平成30年1月1日から平成30年12月31日までに、広島大学病院にて注射用抗菌薬の投与を受けた入院患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は、注射用抗菌薬の投与歴（薬剤名・投与量・投与日数）です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

広島国際大学薬学部薬学科と共同で研究し、広島国際大学薬学部薬学科（研究責任者 佐和 章弘）に情報を集め、解析します。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間 委員会承認後～平成31年3月31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\*研究に資料を提供したくない場合は平成31年3月1日までに申し出てください。申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5578

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰（研究責任者）

薬剤師 久保 有子（担当者）